



- International exchange -

### Glocal English Day Camp

鹿屋市子ども会育成連絡協議会や町内会と連携を図り、市内に暮らす外国籍の人に本市の伝統文化等の魅力を英語で発信する取り組み「グローバル・イングリッシュ・デイキャンプ」を令和3年度から年10回程度開催。



国立台北教育大学

チェン チュー  
**陳 致好** さん

- Teaching practice -

### 台湾からの教育実習生

国立台北教育大学からの教育実習生にお話を伺いました。

# Glocal English Day Camp



外国の英語教育に興味があったことから、実際に現地で経験してみたいと思い、日本での教育実習を希望しました。台湾では政府の方針でバイリンガル教育が行われており、体育・音楽・美術・生活の授業は全て英語で実施されています。英語の授業は小学1年生から始まりますが、家庭によっては未就学児の頃から英語教室に通わせることもあります。また、小学校入学後も児童の大半が英会話塾に通うなど、台湾の学校や家庭では英語は早い段階から習わ

せない身に付かないと考えています。授業では聞く・話すといった「オーラル(言語活動)」が中心で、話す時間を長く取ることで英語は身に付いていきます。言葉はすぐに身に付くものではありません。まずは英語の漫画やドラマなどに触れて、興味を持つことから始めましょう。英語はこれからの時代、必要不可欠な能力。英語が世界を広げてくれると信じて、これからも子どもたちに英語を教えていきます。

- Practical English -

### 思いを届けるコミュニケーションを

言葉には力があります。その一言で、人は傷つきも励まされもします。他者へ思いを巡らし、世界の様々な問題を協働して解決していく未来の担い手である子どもたちにとって、あくまで英語は思いを伝える手段の一つです。大切なことは、失敗を恐れず、その言葉で、豊かな表情で、自分の考えや思いを届けようとする。英語でコミュニケーションを図るときに欠かせないのは「人の思い」であり、その思いこそが、最も人に伝わるものなのです。

「グローバル教育推進事業」では、郷土の課題解決に尽力する志



市学校教育課  
やまうち まこと  
**山内 誠** 指導主事

を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献する人材育成を目的としています。そのような人材に求められることは、英語で郷土(歴史・文化)や自分の考えを語り、コミュニケーションを図りながら思いを伝え合う能力。そのため学力として①知識・技能・思考力・判断力・表現力、②学びに向かう力、③人間性の3つの資質・能力を育成していく必要があります。

令和6年度には、九州地区英語教育研究大会が初めて本市で開催予定。英語が大好きな子どもの姿を多くの人に見ていただけるよう、全ての英語の授業で目的・場面・状況等を明確にし、学校内での学びを実生活につなぎ、自分の気持ちや考えを伝え合う言語活動の充実を図りながら、「生きた」コミュニケーション能力の向上に楽しく取り組んでいきます。

市教育委員会では、これからの地域に開かれた「グローバル教育推進事業」の促進を図り、市民の皆さんとともに楽しく学び続ける英語教育や異文化理解に取り組むことで、グローバルな人材育成を行ってまいります。

- Public relations -

### かのや子どもPR大使(1期生)



田崎中学校3年生  
まつお たける  
**松尾 尊** さん

### かのや子どもPR大使とは…

2月3日、市役所で市内の小中高生8人を、英語で本市の魅力を世界に発信する「かのや子どもPR大使」として委嘱しました。2月19～22日には8人を実際に台湾へ派遣。現地での様々な活動を通して、本市の魅力を英語でPRしてもらいました。

鹿屋市の文化・魅力を世界中に発信していきたいという思いから「かのや子どもPR大使」に応募しました。今は2月19日からの台湾渡航に向けて、改めて鹿屋市の文化を学び、現地の人に伝えられるように準備をしています。台湾では異国の文化を肌で感じ、日本との文化的な違いを学びたいと思っています。初めての海外なので緊張もしていますが、せっかくいただくことができた機会なので、台湾での様々な体験をまずは楽しみ、多くの人と積極的に英語でコミュニケーションを取ってまいります。